

令和5年度 江戸川区立南小岩第二小学校 学校関係者評価 最終報告書

<p>学校教育目標 【目指す児童像】</p>	<p>◎ 考える子【学習や生活のいろいろな場面で、本気、根気の持てる子。正しく判断し、創意工夫する子】 ○ 思いやりのある子【人と協働することに喜びをもち、協力し合える子】 ○ 健康な子【元気な心や体をつくる子】</p>	<p>目指す学校像★ 目指す教師像○</p>	<p>★楽しく、力のかつて学校【楽しさが子供の可能性を開く。授業改善で生き力を育む。】 ★いじめのない、安全・安心な学校【安全第一、人権第一。学校事故0を目指す。】 ★社会性を育て、自己肯定感を伸ばす学校【人と関わりの中で、自分の良さに気付かせる。】 ★地域や保護者に信頼される学校【奉仕的精神と迅速な対応で子供第一の開かれた学校を目指す。】 ○子供の可能性を信じて教職員【子供を認め、褒め、伸ばす教職員○プロとして持続的に授業改善に挑戦する教員】 ○公私をわきまえ、公務員として組織的に行動する教職員</p>
<p>前年度までの学校経営上の 成果と課題</p>	<p><成果>基礎基本の定着に向けた取組。「主体的、対話的で深い学び」の全教科での実施。授業の工夫、改善に向けての取組。体力向上に向けての取組。学校の安全管理体制の継続。 <課題>基礎基本の定着及び「主体的、対話的で深い学び」のさらなる実践。児童の体験的活動、自主活動(あいさつ運動等)のさらなる推進。健全育成に関する取組の周知。特別支援教育の一層の促進及び保護者への周知。</p>		
<p>教育委員会 重点課題</p>	<p><取組項目>・評価の視点</p>	<p>具体的な取組</p>	<p>数値目標</p> <p>取組 成果</p> <p>自己評価</p> <p>成果と課題</p> <p>評価</p> <p>コメント</p> <p>学校関係者評価</p> <p>来年度に向けた 改善策</p>
<p>学力の向上</p>	<p><学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実</p>	<p>「誰一人取り残さない」学力向上アクションプランによる授業改善、二小スタンダード(学習のきまり)徹底…全学年、毎日 一人一台端末による「ドリルパーク」の推奨、朝学習や江戸っ子study weekでの取組…全学年 ・計算力向上のための2年生以上のがんばらんプリント(計算力モチベーション)の実施…毎日 ・ALTの効果的活用…毎週 ・放課後補習教室(外部委託)との連携、放課後補習(スキャリタイム)の実施…全学年 ・算数少人数指導による個別に合った指導の充実…毎日 ・保護者ボランティアの協力による基礎タイムの実施</p>	<p>ペーパードリルによる検証各学年平均10ポイントアップ ・ドリルパーク2000ポイント以上(1年生は1000ポイント以上) 80%以上 ・全校がんばらん選手権5年実施 ・保護者満足度90%以上 ・スキャリタイム年55回実施率100% ・江戸っ子study week、家庭学習強化週間年3回実施 ・基礎タイムの年間実施</p> <p>2学期末に実施したペーパードリルの結果は、1学期末と比較して約10%正答率が上がった。 ・ドリルパーク2000ポイント以上は達成できた。低学年年度はまるぐランドにも取り組んでいる。 ・年5回実施し、基礎学力の定着を図ることができた。 1学期、2学期ともにアンケート結果は、家庭において「働きやすくなる」等が最も多く見られ、達成感やつながりなどの大人の間わり方で支えていくことも大切であると感じた。 ・正解率が上がったのは授業改善の成果だと思ふ。 ・子供たちが意欲を持つような授業を今後も工夫していただきたい。</p>
<p>学力の向上</p>	<p><読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実</p>	<p>読書科年間計画に基づく探究的学習実施…毎学期 朝読書の実施、読み聞かせボランティア等の活用…毎日 学校図書館の活用、図書室の整備、蔵書の適切な管理…2回 読書週間の実施による読書意欲の喚起…年2回</p>	<p>読書科年間計画実施率100% 保護者満足度90%以上 朝読書毎週2回以上、及び年間かせボランティア等による読み聞かせ年間実施 読書週間児童参加率100% 学校関係者評価A</p> <p>朝読書、読み聞かせ、ヒプオトル等計画通り実施することができた。 保護者アンケートによる肯定的回答は80%程度であった。 毎週計画的に、朝読書、読み聞かせボランティアを行っている。 全学年が、読書科の取組をホームページで発信することができた。</p>
<p>学力の向上</p>	<p><巡回指導の充実> ・関係教員等の適切な連携による指導の充実</p>	<p>巡回指導教員、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員及び各担任との情報共有、個別指導への活用…毎日 保護者への理解の促進、PR…毎学期</p>	<p>情報共有実施率100% 当該保護者満足度90%以上</p> <p>特別支援コーディネータ、特別支援専門員が中心となり、関係職員と適切な情報共有ができていた。 保護者アンケートによる肯定的回答は75%であった。</p>
<p>体力の向上</p>	<p><運動意欲や基礎体力の向上> ・運動意欲の向上に向けた取組の実施・充実</p>	<p>二小タイム(運動遊び)の実施…毎週 児童の主体的な運動の推進、補助運動の実施…全学年 外遊び、運動会の実施…毎年 各学期の行事(運動会、持久走大会、大縄大会)及び練習期間の設定、継続実施…毎学期 小岩二中、羅五小、南小岩小4校による教育での小中連携…毎学期</p>	<p>二小タイム等実施率100% 保護者満足度90%以上 運動会、持久走大会、大縄大会は計画的に練習を行い、予定通り実施することができた。 よつばの会を毎月実施し、食育の連携が図れた。</p> <p>二小タイムは、雨や熱中対策、行事の関係で8種類の実施となった。 運動会、持久走大会、大縄大会は計画的に練習を行い、予定通り実施することができた。 よつばの会を毎月実施し、食育の連携が図れた。</p>
<p>共生社会の実現 に向けた教育の 推進</p>	<p><特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境整備及び個別に合った指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副読交流、交流及び共同学習の実施・充実</p>	<p>共生社会実現にむけた教育の推進における地域人材、外部人材の活用…年2回 ユニバーサルデザインの視点での学習環境整備…全校 ユニバーサルデザインを視点とした校内研究…年1回実施 支援シートによる個別に合った対応…全対象児童 エンカレッジルーム(にこにこルーム)の効果的活用…通年 副読交流等の計画的実施…全対象児童</p>	<p>オンビアン、パソビアン、企業講師を外部講師に招き、共生社会に向けた教育の推進が行うことができた。 ユニバーサルデザインの視点から全学年で教室環境の整備を図り、統一することができた。 校内研究を通して、ユニバーサルデザインの視点に立った授業を開発し、個別最適化学習の実現に向けて、授業力が上がった。 年間を通して「東本学園」の副読交流を実施した。</p>
<p>子どもたちの健全 育成</p>	<p><体験的活動、自主活動の推進> ・児童の体験的活動及び自主活動の促進による意欲の向上</p>	<p>異学年交流(たてわり班、きょうだい学習)の実施…毎学期 全校清掃朝会実施…毎月 高学年全員による鼓笛隊の実施…通年 あいさつ名人、あいさつ隊等挨拶運動…通年</p>	<p>異学年交流年間計画実施率100% 高学年鼓笛隊全員参加、区民祭等への参加 挨拶運動通年実施の継続 保護者満足度90%以上</p> <p>計画通りに、異学年交流を実施し、思いのほか高かった。 5年生の鼓笛隊が、10月の区民まつりに参加した。 スノーゲイまでのあいさつ名人とった児童は27人だったが、多くの児童が進んで挨拶をするようになった。 挨拶や行動面について80%の保護者が肯定的回答をした。</p>
<p>子どもたちの健全 育成</p>	<p><子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・Hyper-QUの活用</p>	<p>Hyper-QUの実施及び効果的活用、進路教育の充実、いじめ防止対策の実施…全学年 校内委員会の効果的実施、全職員での支援体制の構築…毎月 特別支援教育に係る教員の指導力向上に向けた研修会の実施…年3回</p>	<p>校内委員会毎月実施、対象児童への実施率100% 保護者への周知70%以上 特別支援関連研修会参加率100%</p> <p>Hyper-QUの活用、進路、いじめ防止の授業は全学年が実施できた。 特別支援研修会を計画通り、日々の学校経営に生かすことができた。</p>
<p>地域に広く開かれた 学校(園)の 実現</p>	<p><地域との共有・協働> ・学校情報の積極的発信 ・学校応援団を始めとする地域人材、外部人材との連携</p>	<p>ホームページ等による情報公開…毎週 学校応援団との連携…毎月</p>	<p>保護者満足度90% ホームページ等による情報発信率100% 学校関係者評価A</p> <p>可能な限りアットによる情報発信を行い、2月2日ホームページ等による情報公開を行い、80%以上の保護者に周知できた。その結果、80%の保護者満足度となった。</p>
<p>特色ある教育の 展開</p>	<p><学校における働き方改革プラン> ・学校における働き方改革プランに基づく取組の実施 ・組織力の向上</p>	<p>C4thの積極的活用、ペーパーレス促進…毎日 文書起草、各分掌チームによる進行管理…各分掌長 会議の効率的な実施及び時間短縮(15分以内)…毎月 スクールサポートスタッフ等の有効活用…全学年 定時退勤日の実施…2回 教科担任制の推進、協働体制…全学年 育児休業等休暇、休業制度の活用促進…全職員(男性含む)</p>	<p>C4th活用率100% 全分掌長が指揮をとり、文書起草を行っている。 経営支援会議15分以内も達成できている。 SSS、副校長補佐、事務補助等効果的に活用している。 85%の職員が残業時間45時間以内を達成している。 11月に男性職員が育児休暇を取得した。</p>
<p>特色ある教育の 展開</p>	<p><教員の授業力の向上> ・校内研究の活性化 ・教員研修の充実 ・ICTの効果的活用</p>	<p>週ごとの指導計画に基づく教育活動の計画的実施及び反省の記載…毎週 校内研究授業実施、区小教研全教員参加10 「主体的、対話的で深い学び」全教科で研究、実施、管理職の授業観察による検証…全職員 ICT関連教員研修会…年5回 各授業におけるICTの効果的活用…毎日</p>	<p>保護者満足度90%以上 ICT研修会実施率100% 全学年ICT活用率100% 保護者満足度90%以上</p> <p>2学期初めに、ICT研修会7回実施し、全学年がICTを活用した授業を日常的に行うことができた。 約90%の保護者が肯定的回答をした。</p>